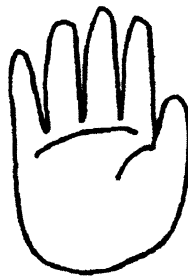


命を守る

「Help Meハンドサイン」



●手を広げて相手に見せる

●親指を曲げる

●全部の指をにぎる

私たちの生活は楽しいことだけではありません。怖いことや嫌なこと、困ったことに遭遇することもあります。あってほしくはありませんが、学校や家庭でのいじめや暴力、乗り物や路上でのわいせつ行為（痴漢など）にもし遭遇してしまったら…。小さな子どものみならず、中高生であっても、嫌なことを拒否するのは簡単なことではありません。

危険を伝えるためには、大声をあげるか、防犯ブザーなどを活用するしかありません。しかし、とっさに大声をあげることは大人でさえも難しいことです。加害者に気付かれずに第三者に危険を伝える方法がこの「ヘルプミーハンドサイン」です。カナダの女性団体が考案したもので、現在、カナダ、アメリカ、イギリス、フィリピンなどで普及が進んでいます。

実際にアメリカで被害にあった女の子が、第三者にサインを送り、助けられた事例があります。しかし、助けてくれた人は、被害者が何か合図を送っていることには気付いたものの、それが助けを求めるサインであることは知らなかったそうです。

みなさんができること

① まず このサインがあることを知る

あなた自身が、大声を出せないときに、この方法を使って助けを求めることができます。

② このサインを受け取ったら その人にだけわかるように リターンサインを出す

被害にあっている人にとって、救出への希望と安心感につながります。

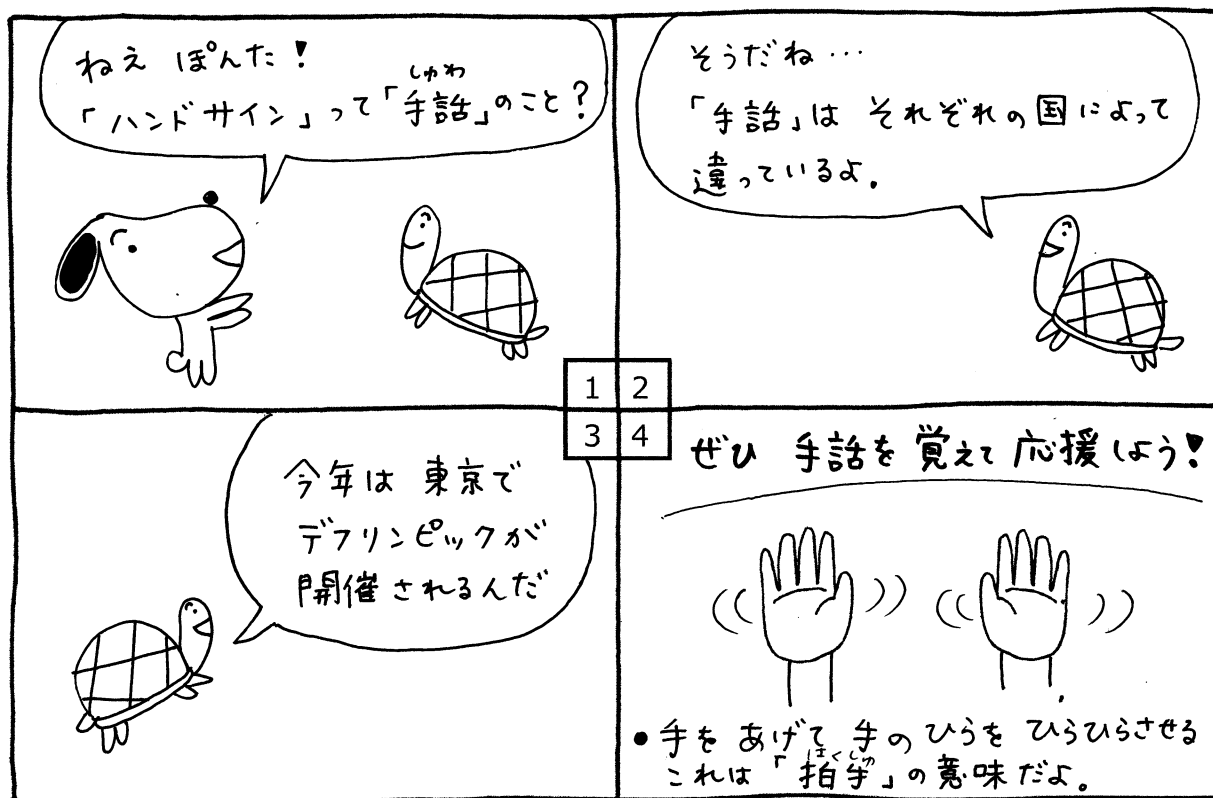
③ サインに気が付いたら 必ずアクションを起こす

受け取ったサインを周囲の人と共有し、しかるべき機関や信頼できる大人に連絡します。

*「ヘルプミーサイン」の活用例を裏面に載せました。動画を見てください。



このサインの特徴は、いつでも・どこでも・誰でも、言葉による意思疎通が困難な人であっても、サインをするだけで大切な命を守ることができる点です。まだ知らない人に教えて、知っている人を一人でも増やしてください。



デフリンピックとは

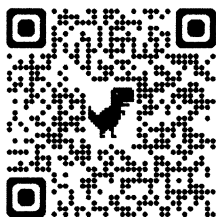
デフ（Deaf：耳が聞こえない）アスリートを対象とした国際総合スポーツ競技大会

11月15日～26日 東京で開催されます。

「Help Meハンドサイン」動画

日本こどもの安全教育総合研究所 公式YouTube

<https://www.youtube.com/@kodomoanzen/featured>



嫌なことは「嫌だ」という勇気を持つこと

他人に助けを求めること

傍観者にならないこと